

2020  
10月号

# つなぐ

## 市民活動フェスティバル2020 開催

～「見て・知って・体験」をお家でも～

11月18日(水)～12月2日(水)

市役所開庁時間内 市民ホール(市役所1階)

市民活動フェスティバル2020は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年とはカタチをかえて開催します。今年は「展示・動画による活動紹介・企画展・Zoom deワークショップ」で構成され、様々な方法で参加できるのが特徴です。

展示会場では参加団体が工夫を凝らした展示で、来庁者に活動を紹介します。

例年は団体と市民の皆さんが、その場で対話していただけるのですが、それが難しい今年は「動画による団体紹介」を行います。各団体が、音楽あり、踊りありのオリジナリティーあふれる動画を作成し、団体の雰囲気を感じてもらえるようにしました。この動画は展示会場で上映するとともに配信も行います。

また、Zoomを使ったワークショップも開催し、自宅から団体の活動内容を体験したり、団体メンバーと直接話したりもできます。このワークショップの様子は展示会場で見られることもできます。

まだまだ、先の見通せない状況の中でも、試行錯誤しながら続けている団体の活動を自宅から、会場から「見て、知って、体験」しましょう。

### 「Zoom de ワークショップ」プログラム

|                |   |
|----------------|---|
| 11/18(水)       | 「Zoom de じいじいクッキング」(じいじいクッキング)                                |
| 11/22(日)       | 「お家で臨床美術体験」(U de 臨床美術部)<br>「Zoom de ミュージック」(NPO法人 千楽chi-raku) |
| 11/23(月・祝)     | 「浦安版『オンラインメイキット』ゲーム体験」(Civic Tech団体URA-CIMA)                  |
| 11/24(火)・28(土) | 「おしゃべり はとぼっぽ(活動説明会)」(NPO法人たすけあい はとぼっぽ)                        |
| 11/26(木)       | 「こんべいとうひろば オンライン」(お助けねっと・こんべいとう)                              |
| 11/28(土)       | 「デジタル時代のまちづくり」(SDGs'スタイル)                                     |



#### 展示参加団体 <2つの期間で入替制 各15団体 計30団体>

展示期間：11月18日(水)～25日(水)

●NPO法人 浦安ダンスパーク ●チーム530 ●nukumori(ぬくもり)推進委員会 ●浦安想い出語りの会 ●浦安お茶っこ会 ●エコフレンド浦安 ●ファイバーリサイクルうらやす ●うらやす第二湾岸道路用地の活用を進める会 ●スマイルのこども食堂浦安 ●認定NPO法人発達わんぱく会 ●おやこの広場・ほこほこ ●一般社団法人 Share Life ●ルフラン ●お助けねっと・こんべいとう ●特定非営利活動法人 たすけあいとはとぼっぽ

展示期間：11月26日(木)～12月2日(水)

●浦安市国際交流協会 ●NPOキラキラ応援隊 ●Civic Tech団体 URA-CIMA ●浦安子ども劇場 ●浦安ネットラジオちょあへよ ●温暖化防止うらやす ●浦安三番瀬を大切にす会 ●浦安水辺の会 ●浦安山楽会 ●NPO法人アリスのうさぎ ●浦安地域猫連絡会 ゆるネコ ●ペーこんくらぶ ●Prism! プリズム ●浦安ドキュメンタリーオフィス ●ボーイスカウト浦安第2団

「Zoom deワークショップ」の詳細、申込みはコチラ↓



または市民活動センターホームページから



## 親子を支える場所をオンラインでも実現

### ～お助けねっと・こんぺいとう～

コロナ注意報や警報が発令中という市内の状況を受け、子育て支援団体「お助けねっと・こんぺいとう」では、普段の活動内容の一部をオンラインに切り替えて行っています。その思いやオンラインでの課題について、代表の角張美穂子さんにお話を伺いました。

#### INTERVIEW



▲「こんぺいとうチャンネル」での手遊び



▲「こんぺいとうサロン」高洲児童センター

#### —まずは団体の概要について教えてください。

「子育てを助け合いながら楽しめるように」との思いを込めて、子育て・家族支援者養成講座の2級修了生によって、平成20年度に子育て支援団体を立ち上げました。保育士・栄養士などの有資格者のほか、子育てを終えたママ・現役のママなど色々な世代の会員35名が、子育て中の親子を支援しています。

高洲児童センター内の「こんぺいとうサロン」では参加者の興味に合わせた遊びを、中央及び当代島公民館の「こんぺいとうひろば」ではこちらでプログラムを用意し、それに沿ってわらべ歌を一緒に歌ったり、人形劇などを行ったりしています。まちづくり活動プラザの「こんぺいとうテラス」では地域交流の場として親子だけでなく高齢者の方々も参加し、参加者に合わせて投げ竹などの昔遊びやマスクケースづくりといった簡単な手芸も行っています。

#### —現在はどのように活動されていますか。オンラインならではの工夫や課題についても教えてください。

「こんぺいとうサロン」と「こんぺいとうテラス」は規模を縮小して再開しましたが、「こんぺいとうひろば」は開催を中止。代わりにオンラインで「こんぺいとうチャンネル」を始めました。Zoomを用いて第2水曜と第3または第4木曜の午前中に、手遊びや読み聞かせ、人形劇などを配信しています。

対面と同じようには子どもたちと触れ合えないのはもどかしいですが、画面に映る子どもたち一人一人に声かけをしているので、それに応えてくれる様子を見ることが楽しみです。エプロンシアターなど画面からはみ出してしまうものは配信できないなど、できることに制約もありますが、プログラムによって配信場所を工夫するなどして、人形劇などは対面と変わらず楽しめるようにしています。

オンラインでの開催については、子育て情報サイトMY浦安やインスタグラムで周知していますが、あまり参加者が集まっていないのが現状です。参加者側のビデオをオフにしたり、途中入退室したりも自由ですので、「こんぺいとうひろば」へ足を運ぶのと同じように気軽な気持ちで参加してもらえたら嬉しいです。

#### —「こんぺいとうチャンネル」の今後についてはいかがでしょうか。

公民館などの屋内施設への人出が戻っていない中、感染や天候を気にせず自宅から参加できるというメリットを生かして、オンラインでの活動は「新しい子育て支援の場」として続けていく予定です。一方的な配信ではなく親子と対話しながら進めていくので、一度参加した親子はリピーターになってくれています。需要はあると思うので、もっと多くの人に知ってもらえるように工夫し、参加者を増やすことが今後の課題です。



▲目の前に子どもがいるつもりで…

「このような時期であっても、オンラインで子育て支援を続けられることが嬉しい」と話す角張さんからは、対面で親子に接するのと変わらない優しさが伝わってきました。

(市民ライター 武田めぐ)

# 「より多くの人に知ってもらいたい!」との想いでオンラインイベントを開催

## ～浦安子ども劇場～

対面で集うのが難しい中、会員以外でも気軽に参加できるオンラインイベントを企画している、「浦安子ども劇場」の清水琴乃さんと代表の堀切久美子さんにお話を伺いました。

### INTERVIEW

#### 一浦安子ども劇場について教えてください。

**堀切さん** 浦安子ども劇場は、身近なところで良質な舞台を子どもたちに鑑賞させたいというお母さんたちが1990年に立ち上げました。当時立ち上げたメンバーは今も見守り役として残っています。現在の子ども正会員は45人です。年に2回の舞台鑑賞以外にも、キャンプなどの活動をしています。

#### 一今年で30周年なのですね!清水さんは何がきっかけで浦安子ども劇場に入ったのですか。

**以下清水さん** 3歳のときに近所の方が誘ってくれたのがきっかけです。舞台鑑賞以外にも、フリーマーケットを開催したり千羽鶴を折って長崎に送ったりと、子ども劇場のイベントが身近にありました。大学や仕事の都合で離れていた時期もありますが、社会人になってしばらくしたときに、会員が少なくなってきたということ聞き、「このまま活動がなくなってしまうのはさみしい」と、会を元気にするために当時の仲間を誘って、また参加するようになりました。



▲「マゼマゼ会」でのオンラインクイズ大会

#### 一コロナにより人が集まるのが難しい状況ではありますが、どのようなことをしているのですか。

市川と浦安の会員を中心に小学3年生～高校生を対象とした「マゼマゼ会」があります。会員の減少により高校生の負担が増えたように感じていたので、私たちOBが企画運営をし、彼らが純粋に楽しむ場を提供し始めてみました。

コロナ前までは2ヶ月に1回集まって、スケートやボーリング、調理実習、運動会、ボードゲーム、高校生以上限定のカラオケ会などをしていました。最近ではZoomを使ってオンラインでのクイズ大会を開催しました。

#### 一自分がやってもらったことを、次は自分がやろうと思うようになったきっかけはありますか。

子ども劇場では大人は見守り役なんです。場は用意してもらっているけれど、つくるのは子どもたち。自らが企画、実行することで仲間との団結力や絆が深まり、考えて行動する力が付きました。それ以外にもここでの貴重な体験の1つが年齢的には大人だけど、大人よりももっと近い存在の20代の会員から人との関わり方や考え方をたくさん教わったことです。今度は自分がその大人になれたらと思いました。

#### 一今後の展望など考えていることはありますか。

子ども劇場に参加する中で一番魅力に感じていたのは、いろいろな年代・学校以外の友達を作ることによって広い世界があると気付けたことです。学校以外にも居場所があったからこそ、学校での人間関係をうまく築けた気がします。また、最近はおとなしくていい子が多い印象です。なので、あえて私自らがはめの外し方を見せることもあります。そういう場を残したいので、入会前でもお試し参加できる「マゼマゼ会」で子ども劇場の活動を知ってもらって、もっと会員を増やしたいと思っています。



▲「マゼマゼ会」でのスケートの集い  
(2018年4月撮影)



▲「子ども劇場」でのお泊り会  
(2019年4月撮影)

現代を生きる子どもたちに必要な環境が、「浦安子ども劇場」にはあると感じました。自ら主体的にアイデアを出し、ほかの子どもたちと時に喧嘩しながらも共創する場。年長者に叱られたり年下には譲歩したりする中で、人生をたくましく生き抜く力が育まれるのでしょうか!

(市民ライター 西橋友理)



## この団体に注目!

## ライラック～優しさのシャワーで脳活性化を～

9月10日(木)、この日、スタートアップ講座<sup>(\*)</sup>に参加したのは、センターに利用登録したばかりの「ライラック」代表の主原さん。団体マイページ作成、大型プリンタ実習など講座を進める中、活動内容や立ち上げの頃のお話、団体の課題など、その時々のお話を伺うことができました。

「ライラック」は、高齢者施設やサロンなどで、認知症予防のゲームを行っている団体。ゲームと言っても単なる手遊びやリハビリ体操ではなく「認知症予防脳活性化ゲーム・スリーA増田方式」<sup>(\*\*)</sup>に基づいて考えられた「みんなの認知症予防ゲーム」<sup>(\*\*\*)</sup>のこと。うまくできるかどうかではなく、ゲームをやっている内に自然に心から笑い合い、それで得られる刺激で脳を活性化します。その場が和やかで笑いがあふれ、まさに「優しさのシャワーが降り注ぐ」というこのゲームのモットーにもつながる楽しい空間になります。

そもそも、このゲームとの出会いが主原さんを「もっと広めたい」「認知症予防に役立てたい」という気持ちにさせ、やがては団体立ち上げまでに至りました。「今はコロナ禍で、活動の場も少なくて・・・」と話す主原さんですが「だから、今できることをしっかりやらなくては!」とセンターのホームページ利用も思い

立ち、講座を受けることに。決して無理はしないけれども、何事にも明るく前向きな姿勢は「ライラック」の特徴でもあります。

認知症予防に取り組むがゆえに担い手はシニア世代にかたよりがち、また人数も十分ではないなど、課題はたくさんありますが、活動再開後は持ち前の明るさと「優しさのシャワー」でますます、楽しい場を作ってくださいませ。

\*1 センター登録団体対象(特に新規登録団体)で、市民活動についてさらに理解を深めていただいたり、センター利用方法などについて学ぶセンター主催の講座

\*2 静岡市の看護師・増田末知子さんが開いていた認知症予防教室「高齢者リフレッシュセンタースリーA」で行われた教科の中の一つ、脳活性化ゲーム。スリーAとは「**あ**かるく・**か**たまをつかって・**か**きらめない」。

\*3 NPO法人認知症予防ネット、名誉理事長 高林実結樹さんが開発したスリーAに基づき開発した20種類のゲーム。



## 市民参加講演会を開催します!

### ○ テーマ: コロナ禍でわたしたちが地域でできること

新型コロナウイルス感染症の拡大は、多くの市民活動団体の運営や事業に大きな影響を与えています。緊急事態宣言は解除されたものの、相次ぐイベントの中止や延期、活動の自粛など、まだコロナ対策を講じながら活動しなければならない状況が続いています。この状況で、市民活動やボランティア活動について不安を感じ、活動の意欲が低くなっている方が多いと思います。活動の制限が余儀なくされているなか、どのように活動することができるのか、コロナ禍の経験や他団体の事例から地域で活動するうえでの工夫や方法、注意しなくてはいけないことなどをお話していただきます。すでに市民活動をしている方はもちろん、これから活動してみたい方、ぜひご来場ください!



● 講師 川中 大輔 氏  
(シチズンシップ共育企画代表・  
龍谷大学社会学部講師)

- 日時 令和2年10月31日(土) 午前10時30分～12時
- 会場 文化会館 3階 大会議室
- 対象 市内在住・在勤・在学の方 先着30名
- 申込 直接または電話、メールにて市役所3階市民参加推進課へ
  - 電話: 047-712-6059
  - メール: shiminsanka@city.urayasu.lg.jp

## センター日誌より

- 今年のフェスティバルの展示は、動画による活動紹介というおまけつき。
- 参加希望団体からは動画作りに困っているとの声もあり、「それならば!」とサンプル動画を何本か作ってみました。スマホによる動画撮影では、音楽はその場で流しテキストは手書きの紙をめくる、そんな方法。「これもありね」
- 「案外、伝わるかも」との評判。どんな「3分」が見られるのか楽しみですね。



問い合わせ・申込みは  
市民活動センターまで

発行: 浦安市市民活動センター  
2020年10月10日

## 【感染拡大防止のためのお願い】

活動の際には、引き続き、『密集』『密接』『密閉』を避け、新しい生活様式を実践し、感染予防にご協力をお願いいたします。

〒279-8501 千葉県浦安市猫実1-1-1 (市庁舎1階)  
TEL: 047-305-1721 / FAX: 047-305-1722  
E-mail: shimink@jcom.home.ne.jp  
URL: <http://u-shimin.genki365.net>